

KODAK
LICENSED PRODUCT

© The Tiffen Company, 2000

KODAK Color Control Patches

Blue 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 B 13 14 15 17 18 19
Cyan 2 3 4 5 6
Green 3 4 5 6
Yellow 7 8
Red 9 10
Magenta 11 12
White 13 14 15
3/Color 16 17
Black 18 19



韻學楷梯
上

ホ 2
5579
1



詩
七
函

門
2
號
5578
卷
1

無相上人原考
道齋先生編輯

韻學楷梯

潛龍溪梓



母二十字。僧溫首座又增補之。為三十六
字。母。於是梵學之七音。震且之四聲。繁然
鏗錡于世。韻鏡之作。蓋成於此時也。然未
詳其人。諒以韻鏡者。句讀之大魁。音韻之
明鏡。披之則如鏡面於妍媸。字音正偽。清
濁開合。漢吳唐三音之別。無不分明。我
域也。上古無文字。黎民襲天然之語言。通
事給用。亦同結繩之政。

應神天皇十六年。韓土俾阿直岐王仁兩博士。貢獻論語十卷。千字文一卷。

持統天皇。詔音韻博士唐續守言薩弘恪二人。居大學寮。而使天下之人學習之。

元正天皇靈龜二年。下道真備。從天使適唐。留學凡十有九年。

聖武天皇天平七年歸朝。乃作國字五十聯音圖。是我邦音韻有矩則之濫觴也。

蓋我土也。其境薄暘谷。去濛汜悠邈。是以文字音韻之興。後於海西數百歲。而自然之妙。倍蓰於彼。大哉我大日本。陰陽大神所造。

天孫降臨之域。與天地無傾。皇統弗革。而履神器。加以竺墳二典。入于我折衷儒佛之道。以攝國政。資之無窮。是為聖賢之教誨。不

問自方他方。尊崇之而不棄廢者。我之風習也。故

盛德洋溢乎萬方。而罔戰爭之患。君子小人俱有仁智之質。淳朴之風。是以言語之音韻。協自然聲調矣。上自

宗廟奏樂。下及里巷謠謠。靡一不合正律。嗚呼亦盛哉。書曰元首明哉。股肱良哉。斯之謂歟。獨漢土不然。秦漢以來。胡族暴侵中

國。苦辛不可勝言。秦築萬里長城。漢聘侍姬而求和親。自茲以降。歷歲之間。五方率職。四隩入貢。其稱靜謐者。亦華夷相半。迄西晉之際。鮮卑胡人慕容廆為平列牧遼東公。拓跋猗盧陞北為王。後稱元魏。唐太宗玄宗雖改其蔽。五季相踵。殘之。趙宋豪傑之輩。猶不能迴其狂瀾。北夷蒙古亂入。京師強戰。檀稱帝。卒為胡元之世。是時也。

言語侏儻音韻淆訛而其為古音者亡矣。其何得以覈諸幸我皇朝有古言假字其為假字也。其音先傳漢音後來皆所口受於彼也。採此方言其例有二。曰假音。曰取義。假音者不必用其義也。取義者不必用其音也。檢之於韻鏡。則喉音伊以為。媪字。衣延惠於遠。各自分位。其他拗音直音。開合之呼法等。如合符節。無少舛迕。由此

觀之。千歲不變。古音賴明。豈其不然也哉。蓋韻鏡傳我朝。不知何代。

龜山天皇文永年中。南都轉經院律師某得之於書藏中。然未如何書。明了坊信範。通悉曇之僧也。適閱此書。加國點始行於世。後奈良天皇享祿初年。泉州堺府宗仲者。鏤梓。清原宣賢跋。其後僧住譽作切要鈔。暨師宥朔著開奩鈔。從是註家相繼數十。其

韻學概論
五
書無慮一百五十餘卷。然而俱倣張麟之
序例。後為翻切圖。未知韻鏡之所以為韻
鏡也。享保年間。洛有僧文雄者。遊於東武。
就太宰氏。受唐音。既而歸京。委心於韻學。
踰年而唐音之呼法。咸以明契合。韻鏡頓
悟。韻鏡之所以為韻鏡。以著磨光韻鏡。蕩
滌註韻鏡者之訛。以掃塵翳。由是韻鏡昭
昭然於海內。於戲。雄氏可謂得其間與者。

矣。然韻鏡四十三紙中。開合不能無此違。
是無它。泥着梅李二圖之呼法。強欲符合
之故也。有弟子子業氏。研覈之以潤色。洪
業。斯又子業氏之功為宏。而子業氏有小
說。皆便韻鏡之章句。惜哉。獨謂律字音。未
謂漢吳二音。譯母拘礙。不調。難以取正。愚
竊憾之。沉潛反覆數十年。造次顛沛。無有
間斷。一日。隱枕恍然。喪其偶。回顧四方。雲

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十

天保二年乃長 長門守大中臣藤井宿禰之為

韻字楷榜乃序

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十

あうつゝささねとせうたりにあやうさ
るあうゝなる文雄ゑとあぬ人なぬと色
あはわうまのまをみううううう
あさめあめあめあめあめあめあめ
うううううううううううううう
うたのうううううううううううう

韻學楷梯目次

卷之上

- 韻鏡之辨 イニキヤウノベン 初甲 メ初
- 助紐七十一字 シヨナウシチジフ 十一甲 丁十一
- 反切字義 ハンセツノジギ 十八 丁十八
- 音韻意義 オニインイギ 三十 丁三十
- 七音 シチオン 四十 甲四十
- 十六攝 ジフロクセツ 四十 甲四十
- 一百七韻圖 ヒヤクシチインツ 五十 三十七
- 三折一律 サンセツイチリツ 七 丁七
- 反切起始 ハンセツノキシ 十六 丁十六
- 反切之法 ハンセツノホフ 二十 丁二十
- 切韻意義 セツインイギ 三十 丁三十
- 三十六字母 サンジュフロクジ 四十 丁四十
- 二百六韻母 ニヒヤクロクインボ 五十 丁五十

下卷目次如左

- 開口合口
- 開合國字式
- 字音國字格
- 入聲借音
- 開發收閉
- 內轉外轉
- 輕重附單行 複行
- 清濁
- 平上去入
- 行等區別
- 有聲無聲
- 喉舌唇三母
- 去聲寄入
- 寄聲之法
- 韻圖舉字之法
- 音註之法
- 唐人音註正誤附往來
- 呼法之辨
- 改正五十聯音之圖
- 拗音開合圖說
- 附錄國字用格以上須知

韻學楷梯

無相文雄翁原考

西涯近藤子業

道齋三浦茂樹

韻鏡

韻鏡ハ韻學ノ入門ニシテ而モ亦韻學ノ闡奧ナ

ルモノ也其書タルヤ音韻ノ鏡ニシテ其字音ハ

古代ノ正音也唐朝以前ノ音ハ一樣ニシテ後世

ノ如ク人毎ニ違ヒ書毎ニ易ルヤウニハ無シ是ヲ

古音ト云フ廣韻玉篇其外陸德明ガ五經音義



等皆古音ニシテ、而于韻鏡ト符合セリ、古人初テ
韻圖ヲ作ル時、其古音ヲ以テ切ト韻ト各其收ル
ベキ窠ヲ定テ、其歸納スル所ヘ其反切シテ得ル
字ヲ填テ今ノ如クノ韻圖ト成セリ、元來上古ノ
反切ハ大抵音和ニ、カナハサル反切ハナシ、後世
ノ字書ナドニ有ル類隔往還ノ類多クハ見エズ、
今磨光韻鏡ノ文字ノ下ニ反切ヲ出セルハ、廣韻
ノ反切ヲ以テ附録セルナリ、此ノ如ク文字ニ反
切ヲ附録シテ、此韻圖ノ文字咸ク古音ニシテ音

和ニ屬セヌハ希ナルト云フ事ヲ示セル也、此書
ヲ韻鏡ト題名セル意ハ、文字ノ譌音ヲ正スニ、此
書ヲ披ケバ鏡面ニ物ノ妍媸ノ見ル、ガ如クニ、
文字ノ音ノ是非明ラカニワカルコト明鏡ノ如
クナレバ音韻ノ鏡ト云フ義ニテ題名セルモノ
也、但文字ヲ反切スル為ノ用ノミニ作レルニ非
ズ文字ヲ反切スルモ亦此書ニ因サレバ成ラザ
レ氏其當用タル所ハ字音ノ誤ヲ正スヲ以テ專
一トスル也、其文字ノ音ヲ正スノ法ニ四聲ノ紐

ヲ調シラへ横呼ワウ十六聲ヲ調シラブル等トウノ法有リ、紐トハ
 譬タトへバ第一轉唇音ヲ以テ是ヲ云へバ蓬ホウ獨行平
 聲第一等
 等ホウ奉ホウ濁行上聲 槿ホウ濁行去聲 暴ホウ濁行入聲 第一等 カヤウニ、
 同行ドウ同等トウヲ連子呼ツクヲ紐チウ聲セイヲ調シラブト云フ。平上去
 入ノカハリハ有レド、同行同等ノ文字ハ、清濁輕
 重ニ變カハリ無レバ畢ヒツ竟キヤウ同音ナリ。故ニ此同紐ノ文
 字ハ、其四等ノ中ニテ一字ノ音ヲ知レハ餘ハ其
 一字ニ準ジユンジテ知ル也。紐ハ器物ノ手懸ニナル
 トコロヲ云フ。夫ヲ借テ手懸ニナル文字ヲ紐ト

云フ也。右云フ所ノ蓬奉槿暴ヲ以テ見レバ蓬ノ
 字ノ音ヲバ、奉槿暴ヲ手懸トシテ其音正ニホウ
 ト云フコトヲ知リ、奉ノ字ノ音ヲバ、蓬槿暴ヲ手
 懸トシテ其音正ニホウト云フコトヲ知ルナリ。
 故ニ紐ノ名ヲ借レリ。而テ紐聲ヲ調シラべ字音ヲ正
 ス意ハ假令ハ蓬ノ字ノ音ヲ誤リ覺オホエタルニ、其
 正音タラシコトヲ知ラント欲セバ、其紐聲ヲ調
 べテ、奉槿暴ノ字ニ準ジ蓬モ奉槿暴ト同音ナル
 コトヲ知ル也。又奉ノ字ノ音ヲ誤リ覺オホエタルニ、

其正音タラシクコトヲ知ラント欲セバ、其紐聲ヲ
 調ベテ、蓬樅暴ノ字ニ準シ、葦モ蓬樅暴ト同音ナ
 ルコトヲ知ル也。已ニ暴ノ字、世上一統ボクト濁
 音ニ讀ミ、清音ナルコトヲ知ラズ、四聲ヲ調ブレ
 バ、清音ニテホクナルコト明白ナリ。平上去入ノ
 違ヒハ獨聲ノアヤマテニテ、乎法ニ於テ別ハ無
 シ。故ニ此連紐ノ國字ノ文字ハ一様ナリ。尤モ入
 聲ハ、平上去ニ易レ、夫モ但下ノ餘聲ノ國字ノ
 違ヒノミニシテ、上ノ音トナル國字ハ違ハザル

ナリ。入聲元來唐音ハ音上ノマテニテ、下ノ餘聲
 ノ國字ハアラザル也。ホウノ國字ナレバ、ホトハ
 カリ讀ム也。故ニ紐聲ヲ調ブルニ、入聲ニ至テハ、
 下ノ餘聲ノ國字ヲ取ラズ、上ノ音ノ國字ノミ同
 様ト心得ベシ。横呼十六聲ヲ調ブルトハ、上ニ云
 フ如ク四聲ノ紐ヲ調ベントスルニ、四等ノ中ニ
 或ハ一字、或ハ二字、或ハ文字ナク、四聲具ハラス。
 又ハ文字ハ具足スルトイヘ、見習ザル文字ノ
 ミニテ四聲トモニ其音疑ハシク、其誤リヲ正ス

コト能ハザル時ニ、横呼十六聲ヲ調フベシ。横呼
 十六聲トハ、譬へハ第十八轉唇音清行ノ奔本奔
 不、次清行ノ歎、相噴、醇、濁行ノ盆、獫、盆、勃、清濁行ノ
 門、邁、悶、沒以上合セテ十六字、是皆同聲ノ字ニテ
 國字ノ字皆同シ。四聲ノ紐ヲ調フル法ト同様ナ
 リ。但シ彼ハ精ク此ハ粗シ。最モ此十六字ハ、國字
 ノ輕重ハ同ジケレバ、行毎ニ清濁ノ變アリ。其清
 濁アル由ヲ考ヘテ調ブベシ。吳音漢音唐音ニ各
 清濁ノ差別アリ、三十六字母ノ條下ニ辨ス併見ルベシ。故ニ行ニ因

行清ト濁トノ違ヒハ有レバ、其餘ハ皆同ジキ也。
 横呼トハ、清行、次清行、濁行、清濁行ヲ横ニ連子テ
 呼ブコト也。尤モ唇舌牙ノ三音ハ各十六聲ナリ、
 齒音ハ五行有ル故ニ二十聲アリ。喉音ハ國音ニ
 テハ、中ノ二行ハカキクケコニテ、左右ノ行ト違
 へリ。左右ハ左右相遞ニ同キマテニテ、八聲ノ同
 聲ナリ。中ノ二行ハ二行相遞ニ同キマテニテ、是
 モ亦八聲ノ同聲ナリ。半舌音、半舌音ハ四聲マデ
 ナリ。十六聲ヲ調ベテ、字音ノ誤ヲ正スノ法モ、上

ノ四聲ヲ調ブル法ニ準^{ジュン}ジテ知ルベシ。此十六聲
ニ協^{カチ}ハサル音ナラバ、^{イフク}譌^{クワ}音ニシテ正シカラズト
知ルベシ。此ノ如クニシテ、文字ノ音ヲ正スヲ以
テ、韻鏡ノ大用トス。其韻圖タルヤ、七音清濁輕重
ノ差別^{シヤベツ}、七音清濁輕重ノ差別ハ三ニ因^{ヨリ}テ、三十六
母ノ配^{ハク}位^イアリ。又二百六ノ韻母ノ字ヲ左傍^{サハカ}ニ置^オ
ク。是音韻ノニツ也。音韻文字ノ規矩トナリテ其
音正トカラズト云フコトナシ。古來ノ韻學者流、此
韻鏡ニ就^{ツイ}テ字子ト云フ事ヲ云フ。是ニ又誤リ

有リ。字子ト云ハ、字母ニ對シテ云フコト也。字母
ハ三十六母也。假令^{メト}ハ幫^{ハク}ハ第三十二轉唇音清行
平聲第一等ニ有リ。此ヲ母トシテ、其餘ノ轉ノ此
窠^{クワ}中^{ナミヤ}ニ收^{ユサ}ル字。其外此韻圖ニ載^{ノセ}ガル字。此窠中ニ
入^{イリ}收^{ユサ}ルベキ。幫ト同音ノ字ヲ指^{サシ}テ、子ト云ヒタル
也。然^{シカ}ルヲ世ノ韻學者流、此名義ヲ誤テ此韻圖ニ
在^アル所ノ字ヲバ、字子トセズ。韻圖ニ載^{ノセ}ガル數^ス萬^{マン}
ノ字ヲ指^{サシ}テ字子也ト思^{オモ}ヘルハ非^ヒ也。此韻圖但^タ四
十三轉ニシテ、文字ヲ載^{ノセ}スルコト、凡^{ソレ}四千二百七

十九字也然リトイヘ氏。彼字子皆此韻圖ノ字母
ト同音ニテ一窠ノ中ニモ數字ノ音ヲ儲フル故
ニ。天下ノ文字其音ノ辨セラレザルハ無シ。此韻
圖ノ至廣至大ナルコトヲ見ツベキ也。

師云。玉篇ニモ類隔反マ、有リ。故ニ磨光韻鏡

中ニモ。類隔反ヲ載タル所有リ。第三轉佐武項扣

東項第六轉牝履第十五轉辟方賣奴第十六轉所所

方卦第二十一轉魁武簡簡滅列第二十三轉免辨

第二十五轉務武道道炮教獯巧撓教第二十八轉廢廢

七果縛臥第二十九轉繫奴下亞乃乃第三十三轉獮乃

第三十五轉臚武幸履第三十七轉啞侯謀莫拈拈

第三十八轉賃乃第三十九轉葵成第四十轉

紺武第四十二轉儂永曹肯朋父復符窞窞以上

三十二字ノ反切ハ類隔也。改正セント欲スレ氏。

未ダ果ト得ズ。

又云。紐ノ字ヒボト訓ズレ氏當ラズ。紐ハ結ビ

目ノ事也。禮部韻略ニ結會也ト註スルモ是也。

今四聲ノ紐ト云フハ。結ビ目ナレバ物ノ手懸ニモ

ナル故ニ借テ器物ノ手懸ヲモ紐ト云フ印石ノ
ツマム所ヲ紐ト云フヲ以テ見ルベシ

三折一律 一名唐人反

凡ソ文字ヲ反切スルニ。切字ニ助紐ヲ添連子テ。
唇弄ニ呼テ歸納ヲ得ル。是ヲ三折一律ト云フ。又
是ヲ助紐反切トモ。唐人反トモ云フ也。唐朝ノ人
ヲ用ヒタルコト故ニ。是ヲ唐人反ト云也。明
人ノ作レル三台對類ト云フ書ニ此稱アリ。此反
切ノ法ハ韻圖ヲ考フルニ及バズ。切字ニ助紐ヲ
連子語誦シテ歸納ヲ得ル也。是反切ノ古法ナリ。

唐朝以前ノ人此法ヲ用フ。韻圖ヲ押シテ文字ヲ
反切スルハ。宋朝以來ノコト也。三折一律トハ三
タビ折レテ一ニ律スト云義也。律トハ説文ニ均
布也ト云。品物分レタルヲ均クワロフル意ナリ。
韻學集成ニハ。律ハ正也ト註ス。正シクスル意也。
音ニタビ折レ展轉シテ終ニ一音ニ歸スルガ故
ニ三折一律ト云フ也。三タビ折ルトハ。假令バ千
結ノ切ナレバ千親千切ト呼ブ四字ノ間ニテ自
ラニタビ曲折スル也。三タビ曲折スルトイヘド。

牙音 カキクケコ 助紐 キン ケン

齒音 サシスセソ 助紐 シン セン

喉音 アイウエオ 助紐 イン エン

半舌音 ラリルレロ 助紐 リン レン

半齒音 ガジズゼヅ 助紐 ジンゼン

震且ノ助紐ハ、三十一六母、母毎ニ字モ變リ其音

モ一様ナラヌモ有レド、五十字文ニテハ、唇音ハ

八母ト、様ニヒンヘン也、舌音ハ八母トニ一

様ニチンテン也、サテ反切スル法ハ、假令ハ部迥

切竝ト云フハ切字ノ國字ホヲ用テ呼ビ、夫ニ助

紐ノヒンヘンヲ連子テ呼ビ歸納字ヲ生ズル也、

歸納字ヲ生ズルハ、ヒンヘンヲ連子テ呼ブ間ニ

韻字ノケノ國字ヲ、口中ニ蓄フル心ニナレバ、ハ

ヒフヘホノ國字ノ中ヨリ、ケニ相和スル國字生

ジテ、ヘノ音發シ出ル也、此ヘノ國字ニ韻字ノ下

ノ韻イノ國字ヲ繼テヘイトシ、竝ヲヘイノ音ト

知ル也、ケトヘトハ五十字文ニテ、第四等ニ在リテ

同等ノ字也、同等ノ字ハ同ジ呼法ノ字故ニ、列

トヘトハ相和スル故ニ。ケニヘノ字ヲ呼ビ出サ
 ル、也。切字ニハ餘聲ノ國字ウニイ等ノ類有リ
 テモ此ハ用ヒ又也。又馨鳥切曉ト云ハ。切字ノ國
 字ケヲ用テ呼ビ。夫ニ助紐ノキンケンヲ連子テ
 呼ビ其キンケンヲ呼ブ間ニ。韻字ノチノ國字シ
 口中ニ蓄フル心ヲ持テバ。カキクケコノ國字ノ
 中ヨリキノ音發シ出ル也。此キノ國字ニ韻字ノ
 下ノ餘聲ヤウノ國字ヲ合テキヤウト云。曉ヲキ
 ヤウノ音ト知ル也。チトキトハ。五十字文ニテ第

二等ニ在テ同等ノ字ナレバ。チトキトハ相和スル
 也。故ニキノ字ハチノ字ニ呼ビ出サル、ナリ。
 此反切ノ要法ニシテ平生ニ此法ヲ用テ文字ノ
 音ヲ正スベシ。然レ此法ヲ用テ反切スルニ十
 ニ二三ハ歸納ヲ得ガタキモ有ル也。假令歸納ヲ
 得タリトモ。疑ハシクテ其音定メ可キ時ニハ。韻
 鏡ヲ以テ正ス也。

助紐七十二字

三十六字母ノ母毎ニ助紐ノ字有リ。諸韻書ニ載

ル所各オナジカラズトイヘド。助紐ノ字ハ音ヲ
 以テ要トナシ、字義ニ拘ラサルコトナレバ同シ
 カラズトイヘド異義ナシ、

唇重音

幫 賓邊 音唐 ビムピエン

滂 續篇 音唐 ピムピエン 續偏 玉篇

並 頻 音唐 ビムピエン 貧偏 指掌

明 泯 眠 音唐 ミンミエン 民綿 指掌 玉篇

唇輕音

非	分蕃 音唐 フワンフワン 分番 指掌
敷	芬翻 音唐 フワンフワン 芬蕃 指掌 芬番 玉篇
奉	汾煩 音唐 ウンワン 墳贗 指掌 墳煩 玉篇
微	文滿 音唐 ウタンウワン
舌頭音	
端	丁顛 音唐 テインテン 丁眞 玉篇
透	汀天 音唐 テインテン
定	廷田 音唐 デインテン
泥	寧年 音唐 ニン子

韻字譜卷上

〇上

舌上音

知 チ 珍 チン 遭 テ 音唐 チムテエ

徹 テ 獬 テ 延 テ 音唐 チムテエ 辰 チン 延 テ 玉篇

澄 テ 陳 チン 廩 テ 音唐 ヂムヂエ 陳 チン 纏 テ 指掌

孃 ニ 紉 ニ 孃 ニ 音唐 ニ子

牙音

見 キ 經 キ 堅 キ 音唐 キインキエ

溪 キ 輕 キ 牽 キ 音唐 キインキエ

群 ギ 勤 ギ 虔 ギ 音唐 ギイムギエ 勤 ギ 乾 ギ

疑 ギ 銀 ギ 言 ギ 音唐 イムエ 銀 ギ 研 ギ 指掌

齒頭音

精 シ 精 シ 煎 シ 音唐 ツインツエ 津 シ 煎 シ 玉篇

清 シ 親 シ 千 シ 音唐 ツインツエ

從 シ 秦 シ 前 シ 音唐 ツイムツエ 秦 シ 錢 シ 玉篇

心 シ 新 シ 仙 シ 糖 シ スイムスエ 新 シ 先 シ 指掌

邪 シ 錫 シ 延 シ 音唐 ヅインヅエ

正齒音

照 シ 真 シ 擅 シ 音唐 チムチエ 征 シ 擅 シ 玉篇 諄 シ 專 シ 指掌

音字抄

穿 瞋チン 輝ヒイ 音唐音唐 チンチエン 春川チン 指掌指掌

牀 蓀セン 潺セン 音唐音唐 ヲインヂエン 脣セン 端セン 指掌指掌

審 身セン 羶ヤン 音唐音唐 シムシエン 舜セン 拴ヤン 指掌指掌

禪 辰セン 禪セン 音唐音唐 ジムジエン 純セン 船セン 指掌指掌 辰常セン 玉篇玉篇

喉音

殷エン 馬マ 音唐音唐 イムイエ 因エン 煙エン 指掌指掌

曉 馨キン 秋ケン 音唐音唐 シンヒエン 馨キン 軒ケン 指掌指掌

匣 碩シヤク 賢ケン 音唐音唐 イムエン 刑ケン 賢ケン 指掌指掌

喻 韻ユン 緣エン 音唐音唐 イムイエ 寅エン 延エン 指掌指掌

半舌音 來 隣リン 連レン 音唐音唐 リムリエ

半齒音

日ジツ 人ジン 然ゼン 音唐音唐 ジンジエン 仁ジン 然ゼン 玉篇玉篇

助紐ト云フモノ、震旦ノ人ノ用ヒテ反切ニ功ヲ

得ルト、本邦ノ人ノ用ヒテ反切ニ功ヲ得ル所ト

同ジキ所アリ、異ナル所アリ、其同ジキ所ト云フ

ハ、震旦ノ人ノ反切ハ、ハ又ル字ヲ用フルニ因テ

口中調和シテ、歸納ノ音知ル、故ニ、ハ又ル字ヲ

員字抄

古

用フル意ハ是同ジコト也。即チ助紐字悉クハ又
ル字也。丁顛ノ丁、經堅ノ經ノ類ハ、國音ニテハハ
又ル字ニテハ無レド、唐音丁ハテイニ、經ハキイ
ンニテ、是モハ又ル字也。其他モハ又ル字ニテ無
キハナシ。又此等ノ文字全體ガ各ソノ字母ト清
濁輕重同ジキ字ヲ挺出シテ用ヒタルモノナリ。
但、擬延ノ延ト、藤瀝ノ藤トバカ
リ、其字母ニ屬セ又字ナルナリ。異ナル所ト云ハ、
唐音ノ幫滂並明四母ノ助紐、影喻二母ノ助紐來
母ノ助紐、日母ノ助紐バカリ。本邦ノ五十字文ノ

二等ト四等トノ國字ヲ用ヒテ助紐トスル格ト
同ジコトニテ、唐音ニテハ、非敷二母ノ助紐ハ、フ
ワ、フワン、奉母ノ助紐ハ、ウ、ニワン、微母ノ助
紐ハ、ウヲニウワン、端透二母ノ助紐ハ、テイニテ
ン也。其餘モ此ノ如クニシテ、二等ト四等トノ國
字ヲ用ルニ非ラズ、二等四等ト云フ様ニ定ル所
ナシ。分蕃芬翻ハフワンフワン、丁顛汀天ハ、テイ
ンテンニテ、助紐ノ上ノ字モ下ノ字モ、同ジ音ニ
シテ、本邦ノ助紐トハ大ニ異ナリ。震旦ノ人ハ此

ノ如クニテモ口調和シテ、歸納ノ音ヲ生ズル
 ト見エタリ。是唐音ト國音トノ違ヒ也。助紐反切
 ノ法ハズ井ヅ、口中穩ニシテ、音ニ低昂ナク、エ
 ヲタリト唱ヘザレバ、音ハ生ゼサルコト也。其證
 據ニハ助紐字悉ク平聲ノ字也。韻緣ノ韻バカリ
 去聲ナルヲ見テ知ルベシ。助紐ノ字上ニ録ス如
 ク、韻鏡ニ古來ヨリ用フル所ト玉篇又ハ指掌ト、
 各違ヒタル多シ。是何ノ意味モナシ。上ニモ云フ
 如ク、助紐ハ但文字ノ音ヲ假ルマテニテ字義ニ

カ、ハラズ、音サヘ同ジケレバ、勝手次第ニ何レ
 ノ字ヲ用ヒテモ助紐トナル故也。獅延ノ延ノ字、
 喻母ノ字也。是ヲ用ヒテ徹母ノ助紐トスルコト。
 疑ハシ、徹母ニ疑ノ字アリ。テニノ音也。延ノ
 字若シ延ノ字ノ偏ヲ略シテ誤リ來レル歟、紐、獅
 ノ獅ノ字ハ、元來字ニテハ無シ第二十三轉ニテ
 有聲無形ノ窠故ニ、作り字ヲシタル也。唐音ノ子
 ント云フ音有ルハ、女聯ノ切ヲ以テ子トノ音ヲ
 製シタルモノ也。此窠ハ切字ヲ女トシ韻母ヲ聯

トシテ。子ノ音ノ生ズル所也。

反切ノ起始

宋ノ沈括ガ夢溪筆談ヲ考フルニ、大凡文字ヲ反切スルコト、西域ヨリ出タリ、震旦ニハ古代ハナカリシコト、見エタリ、漢ノ代ノ人ハ書ヲ註スルニ、某字讀如某字ト云ヤウニシテ、其音訓ヲ示シ、反切ヲ用ヒザリシ也。然ルニ反切ノ濫觴ハ上古已ニ萌セシニ似タルコト有リ、其故ハ古語ニ二聲ヲ合テ一字ト為ルモノ有リ、不可ヲ巨ト

為シ。何不ヲ盡ト為シ。如是ヲ爾ト為シ。而已ヲ耳

ト為シ。之乎ヲ諸ト為ス等ノ類ハ、西域ノ二合音

ニ似タリ。西域ニ合音トハ、死ノ二字ヲ合テ

一音トナス。是ヲ二合ト云。此等ノ義ニ本キテ、始

レルニヤアラシ、反切ノ意ハ譬ヘバ、東ノ字ノ音

ヲ人知ラズシテ、ヨシ難カラント思ヘバ、徳紅ノ

二字ヲ以テ音ヲ示シ、徳紅ノ二字ヲツメテ呼テ

東ノ字音ヲ知ラシムル也。皇國ニテハ國字副ト

云フコト有テ東ノ字ナラバ、右旁ニトウトシテ

オケバ誰ニテモ。是ヲ讀ドモ震日ニハ假名附ト
云フ類ナシ。故ニ反切ヲ用テ字音ヲ訓ズル也。吾
皇國ニモ元ヨリ二字ノ音ヲツヅメテ一字ノ音
ニスルコトアリ。キエヲ反切スレバ。ケトナル故
ニ雪消ヲ和歌ニユキゲトヨミ。又ナガ、ラン心
モ知ラズ黒髮ノト云等ノナガ、ランノカハク
アノ二字ヲツヅメタルニテ長クアラント云フ
事也。又花サツフ嵐ノ庭ノ雪ナラデノナハ、ニハ
アノ三字ヲツヅメタルニテ。雪ニハアラテト云

フコト也。又チギリキナカタニニ袖ヲニホリツ
ト云。チギリキナノキハ。ケリノ二字ヲツヅメ
タルニテ。チギリケリナ也。又人コソエラ子カハ
クマモナシ。又玉ノ緒ヨタエナバタエ子等イフ
ノ子ハ。又ナレノ三字ヲ約メタルニテ。人コソ知
ラヌナレ。絶ナハ絶又ナレト云フ言ノ葉ナリ。三
字ヲ約ムルトハ。又ナノ反ハナトナル又ナレノ
反ハ子ト成ルヲ云フ。其外ニモ遠江國ト云ヘル
ハ遠津淡海國ト云ヘルヲ約メタルニテ。是ハツ

アヲワ、メテタトシ、ハウヲ約メテフトナレタ
ルナリ、又中臣豊臣ノ臣ヲトミト訓コトハ、モト
中津臣豊津臣ト云ナルヲ、津文字ヲ略シテ中臣
豊臣ト書キ、ツオミ、ワオヲ約メテト、ナシテ
臣ヲトミト云ヘル也、此等ノ類皆反切ノ義也。

反切ノ字義

反ハ平聲也、音訓共ニ翻ノ字ニ同ク、ヒルガヘル
ノ意也、然ルユエニ、反モハント讀ヘシ、司馬温公
ノ通鑑ノ音註ニハ、某々反ト云フコトヲ咸ク某

々翻ト有リ、毛晃ガ増韻ニ音韻展轉相協謂之反
ト有リ、展轉ノ二字、反ノ字ヲトケリ、凡ソ文字ヲ
反切スルニ三折一律ト云コト有テ、切教ニ助紐
ト云モノヲソヘテ呼ビ、其中ニ韻字母ノヒバキヲ
含メバ、歸納ノ音ヲ生ズ、假令ハ德紅ノ反ナレバ、ト
キニテニ東ノ音トナル、是呼法展轉ノ意也、世人
某々反ト云ヲ、カヘシトヨムハ非也、字ヲカヘス
ト云モ亦非也、此ヨリ反覆スル意ニテハナシ、彼
自ラカヘル也、實ハ某々ノカヘリノ心ナリ、某々

反ト音ニテヨムベシ。切ハワムルト譯スベシ。
 迫^{ハク}ノ意也。増韻ニ兩字相摩^{アヒ}以成^ス聲韻謂^フ之切ト
 アリ。相摩ノ二字。切ノ意ヲトケリ。摩モ切ノ義有
 テ。物ヲ兩方ヨリ差^{サシ}ツケテ。合スル心也。凡ソ文字
 ヲ反切スルハ切^カト韻^ブトノ兩字ノ音ヲツマ
 メ合セテ一字トス。此一字則チ歸納字ナリ。是切
 ノ意義也。世人某々切ト云ヲカヘシトヨムハ非
 也。某々切ト音ニテヨムベシ。畢竟反モ切モ共ニ
 モト二字ノ音ヲ約^{ツク}メテ一音トスルコトニテ。二

名アレバ。其實ハ一也。精^{セイ}微^ミニ分テ是ヲ云ヘバ。切
 ハ體ニシテ反ハ用也。是ヲ以テ反切ト云テ切反
 トハ云ハズ。コレ切ノ功^{コウ}重^{オモ}ケレバ也。切ハ入聲ニ
 シテ其音促^{ツマ}レリ。反切ノ作^サ為^シニ便也。故其體
 親^シシキ字書韻書ニ例^{レイ}シテ。某々切ト云テ反ト云
 フコトナシ。反ハ平聲ニシテ其聲緩^{ユル}ヤカナリ。其
 事ヲ指テ云トキ是ヲ文章ニスルニ便也。故ニ經
 史ノ音釋ニ某々反ト云テ切ト云フコト希^{マレ}ナリ
 是文章ナレハナルベシ

反切ノ法

本邦韻學家反切ノ大法ヲ示セル訣有リ、其略ニ
 父頭シク繼母尾母オキエ表取父位父字タラニヒヤウコウシ豎升降母字ヨコニ横往來ヨコニ
 ト云ヘリ。反切ノ法門例多シト云ヘ凡、其大法ハ
 是ニモレズ。父頭トハ、切字ノ上ノ國字カニ德ニ紅ニ切ハト切
 字也。母尾トハ、韻母ノ下ノ國字テハ紅ハ切ノ字ニナリ
 母表トハ、韻母ヲ載セタル韻圖面ヲ指ス也母字
 轉ナラバ、歸納字モ此二句ノ心ハ、反切ノ大法ハ
 第一轉ニテトル也。此ニ相和スル字ヲ求モト
 切字、上ノ字ヲ準カニ用ヒ、此ニ相和スル字ヲ求

メテ、歸納字ノ上ノ字トシ、韻母ノ下ノ國字ニ續
 ケ合セテ歸納字ヲ定ム。故ニ切字ノ音ヲ準カニ取
 リ、韻母ノ有ル轉へ移リテ、初メ切字ノ有リシ位
 ヲ尋タテ此ヲ借テ切字ノ音ニ取用フル也。初メ切
 字ノ有リシ位ガ、舌音ノ清行入聲第一等ナラバ、
 韻母ノ有ル轉ニテモ、又舌音ノ清行入聲第一等
 ヲ切字ノ音ニ取り用フル也。譬へバ德紅切ナラ
 バ、德ハ第四十二轉舌音清行入聲第一等ニ有リ、
 紅ハ第一轉喉音濁行平聲第一等ニ有リ、故ニ第

四十二轉ヨリ第一轉へ移リテ。其面ノ舌音清行
入聲第一等穀ノ字ヲ以テ切字ニ借り用ヒ。此音
ニ同じキ音ノ韻母ノ紅ノ字ノ有ル位ニテ。トノ
字ヲ求メテ紅ノ字ノウノ字ト續ケテトウノ音
ト知り。東ノ字ヲ得ル也。父字、豎升降スルトハ、母
字ノ有ル轉へ移リタル時ニ。母字ハ父字ノ音有
ル位ヨリ上ニ有レバ、歸納字ヲハ升リテ取り。若
シ母字父字ノ音アル位ヨリ下ニ有レバ、歸納字
ヲバ降リテ取ル也。歸字ハトカク初メ切字ノ有

シ行ノ中ヲイデズ其行ノ中ニテ升リ降リスル
也。譬へバ德紅切ナレバ、上ニ韻母有ル故ニ升テ
歸納字ヲ取ル。又張六切張三十一轉知母平三ナ
レバ切字ヨリ下ニ韻母有ル故ニ降テ歸納字ヲ
取ル也。母字、横往來トハ、本邦韻學者流ノコトバ
ニ、韻圖ノ面ニテ、右ヨリ左へ往テ歸納ヲ取ルヲ
往ト云ヒ。左ヨリ右へ戻リテ歸納ヲ取ルヲ來ト
云フ。此句ノ心ハ、母字ノ有ル轉へ移リタル時ニ、
切字ノ位。母字ヨリ右ニ有ラバ、母字ノ有ル左ヨ

リ右へ戻モドリテ歸納字ヲ取り。若シ切字ノ位。母字ヨ
 リ左ニアラバ。母字ノ有ル右ヨリ左へ往ユキテ歸納
 字ヲ取ル也。譬へバ德紅切ナレバ。切字母字ヨリ
 右一有ル故ニ。戻モドリり來キタリテ歸納字ヲ取ル也。又呼木
 切呼ハ十二轉曉母平ノ一木第一轉明母入ノ一ナレバ。切字母字ヨリ左ニ
 有ル故ニ。往ユキテ歸納字ヲ取ル也。反切ニ門法多シト
 イへバ。先大法ハ。此ヲ離ハナレズ。五十字文ノ國字反
 ト云フモノ、中ノ角行反ト云フ門法。此ト同ジ
 キ也。反切ノ諸門法ヲ學ブコト。甚ハナダマキラハシ

キコト也。初學マツ磨光韻鏡ノ字ノ下ニ載テ有
 ル反切ヲ以テ。其字ヲ反切シテ見テ。音和中ノ諸
 門法ヲ學ブベシ。此ニ熟シユクシテ廣ク音和ノ門法ノ
 他ノ門法ヲモ學ブヘシ。門法ノ中四同音和ト云
 フ門甚ダ正タシキ法ニシテ。反切ノ根元ナリ。元來モトヨリ
 何レノ門法トイへバ此門法ノ意ノ及バザルハ
 無シ。他ノ門法。皆此門ノ旁出也。韻學ヲスルモノ
 先此門ノ意ヲ能ク明アキラムベシ。四同トハ。一ニハ同
 音。二ニハ同母。三ニハ同韻。四ニハ同等也。音母韻

音字格上
等ノ四トモニ同ジキトテ。四同ト云ヒタル也。同
音トハ。切字ト歸納字ト音同ジキ様ニ反切スル
也。此ハ清濁ヲ同ジウセン為也。切字清行ナレバ。
歸納字モ清行也。此ヲ同音ト云ス。同音ナラザレ
バ。清濁違フ故ニ歸納生セズ。同母トハ。切字ト歸
納字ト字母同ジキ様ニ反切スル也。此ハ輕重ヲ
同ジウセン為也。切字端母ナレバ。歸納字モ端母
也。此ヲ同母ト云ス。同母ナラザレバ。口中音發ス
ル所タガフ故ニ歸納生セズ。同韻トハ。韻母字ト

歸納字ト韻母ノ字同ジキ也。此ハ字ノ韻ヲ同ジ
ウセン為也。韻母字寒ノ韻ナレバ。歸納字モ寒ノ
韻也。此ヲ同韻ト云フ。文字ヲ反切スルハ。韻母ノ
響音合ニ因テ歸納字ハ生ズルモノ也。同等トハ切
字モ韻母モ歸納字モ等同ジキ様ニ反切スル也。
切字第一等ナレバ。韻母モ歸納字モ第一等ナリ。
四同ノ中但同等ノ一條ハ違ヒタリ也。反切ニ病
ナシ。等ノ違ヒタルヲ三同音和ト云フ。切字第一
等ナレバ。韻字ト歸納字トハ第二等ニ有ルト云

フ類也。四同ナレバ、音和スルコト至極ニシテ、ヤ
 スラカニ反切スル也。三同ナレバ、音和スルコト
 四同ニ及バズ。少シ澁リテ反切スル也。此味ヒ下
 ニ論ズベシ。音和トハ、音ノ和熟スル也。和ノ字義
 ハ、三ツノモノ打交リテ一ツニ成テツ、ゴ無キ
 心也。假令バ辛キ物ト酸キ物ト打交タル所ニ、
 辛キ味モ知レズ。酸キ味モ知レズ。唯一筋ニ甘ク
 成ル様ナルヲ和スルト云フ。反切ト云フモノ切
 字ト韻母トノ二字ヲ打合セタル時。此二字ノ音

一ツニ成テ、歸納ノ音ヲ生ジ。切字ノ音モ韻母ノ
 音モ融會シテ和熟スル也。假令バ馨鳥切馨三十
 母平、四鳥、二十、曉ノ如キ。ケト子トノ二字和シテ
 五轉端母上、四、如キ。國音ニテハ、ハ
 キト成ル也。馨鳥切即四同音和也。又假令ハ方典
 切方三十一轉非母平、三編ノ如キ。國音ニテハ、ハ
 トテト二字和シテヘトナレバ、唐音ニテハ、フワ
 ハ輕音也。ピエハ重音也。故ニフワトテト反切ス
 トイヘ氏。ピエト云フ歸納生セズ。方典切即類隔
 ト云フ例也。類隔ノ例ハ、音和ノ反對ノ門注ナリ。

スベテ國音ニテ反切スレバ。輕重ノ障リ無ク。音
和ノ如クニ反切スル也。然レバ國音ノ反切ハ多
クハ音和也ト思ヘリ。唐音ハ輕重ノ違ヒ有レバ。
必ズ音和ニナラザル也。音和ノ門法ハ諸門法ノ
本源ユエニ此ニ委ク論ズ。

反切ト云フモノハ。上ニ論ズル如ク切ト韻トノ
二字ヲ打合セテ歸納ノ音ヲ生ジテ。切ノ音モ韻
ノ音モ融會シテ和熟スルヲ音和トス。此音和ハ
諸門例ヲ貫ケル大法也。凡ソ音和ニ屬スル諸門

法四様有リ。一ニハ四同音和。此ハ歸納字。切ト韻
ト兩字ノ位ヲ同ジウシテ。其音切韻ニ和シテ生
ズ。二ニハ三同音和。此ハ歸納字。切字ノ位ニハ違
ヒタレレ。韻字ノ位ニ同ジウシテ。其音韻字ニ和
セラレテ生ズ。三ニハ憑切。此ハ歸納字。韻字ノ位
ニハ違ヒタレレ。切字ノ位ニ同ジウシテ。其音切
字ニ和シテ生ズ。四ニハ旁憑切。廣通偏狹ノ三門
也。此ハ歸納字。切ニモ韻ニモ位同ジカラズ。韻ノ
音ノ通ズル位へ移テ音ヲ生ズ。三同音和ノ類也。

此四様ニ別ル、意ハ先四同音和ハ。切ト韻ト呼
 法同ジキ故ノ義ト合セ考フベシ。歸納ノ音。切ト
 韻トニツレテ相和シテ生ズ。次ニ三同音和ハ。切
 ト韻トノ呼法違ヒタレバ。切ト韻トヲ合セ呼テ
 歸納ヲ求ル時ニ。切ノ呼法ノ違ヒタル音。韻ノ呼
 法ニ變化セラレテ。其違ヒ韻ト歸納トノ呼法ト
 一ツニナル也。次ニ憑切ハ。切ト韻トノ呼法違ヒ
 タレバ。切ト韻トヲ合セテ呼ビ歸納ヲ求ル時ニ。
 韻ノ呼法ノ違ヒタル音。切ノ呼法ニ變化セラレ

テ、其違ヒ切ト歸納トノ呼法ト一ツニナル也。次
 ニ旁憑切。廣通。偏狹ノ類ハ。三同音和ノ如ク切ノ
 位ニ拘ラズ。韻ノ位ニ因テ反切シタル所。其位輕
 重ノ違ヒ有ル故ニ。其所ニテ歸納ノ音生セス。三
 四ノ兩等ハ。收位ト閉位トニテ同ジ合音ナレバ。
 三四相遞ニ通ズ。故ニ三ヨリ四へ接テ歸納ヲ取
 ル。是ヲ旁憑切ト云フ。是モ切ノ呼法ノ違ヒタル
 音。韻ノ呼法ニ變化セラレテ。其違ヒ韻ト歸納ト
 ノ呼法ニ一ツニナル也。又切ノ位ニ拘ラズ。韻ノ

位ニ因テ反切シタル所。其輕重ノ違ヒ有ルニモ
無レバ。單行故也。或ハ歸納ニ取ル字無キ故ニ三四ノ
兩等タガヒ遞ニ相通スル所へ移テ歸納ヲ取ル。是廣
通偏狹ト云ス。是モ切ノ呼法ノ違ヒ。韻ノ呼法ニ
變化セラレテ。韻ト歸納トノ呼法ト一ツニナル
也。本邦韻學者流廣韻ノ子駝切子第八轉精母上
平三磨光韻鏡ニ載スル所也。原本ニハ二十八轉漢母平三。精母平一。旁憑
切ノ門法トス。此ニ論スル義トハ違ヘリ。是ハ旁
憑切ニハ屬シ難シカタ誤レリト云フベシ。此等ノ義

音和ニ屬セル諸門法ニ於テ見レバ。彼音和ノ重オモ
キト云フ心見ウベシ。故ニ是ヲ論ズ。此諸門例ノ
某々ノ術ユツハ。別ニ是ヲ録ス故ニ此ニ贅セセス。
反切ニ諸門法アル事。古代ノコトニ非ズ。古代ノ
反切ハ。多クハ四同三同ノ音和也。憑切。憑韻。廣通
偏狹モ稀ナルコト也。此ニテ音和ノ正シキ法ナ
ルコトヲ見ルベシ。後世ニ至テ古音スタ棄リ。人毎ニ
反切ヲ作り。書毎ニ音註ヲ改ム。故ニ韻鏡ノ韻圖
ニテ是ヲ見レバ。輕重清濁ヲ違ヘタル反切多ク

有ルニ因テ。多クノ門法ノ名目ヲ立テ其違ヘル
反切ヲ評スル也。多クノ門法何レモ反切ヲスル
定術ニハ非ズ。四同三同ノ外ハ。反切スルトテモ
平和ニ音ワカレズ用ヒカク。然レバ今新ニ反切
ノ切韻ヲ定メバ。四同三同ノ音和ヲ離ルベカラ
ズ。諸門法ノ名目ヲツレクニ講カクジ分ツハ。古代ノ
反切ヲ是ハ某。是ハ某ト分チ知タメン為也。反切ヲ學
ブノ第一義ニハアラス。今韻學者流コレヲ韻學
ノ急務トスルハ誤レリト云フベシ。

人ノ名諱メイヲ反切スルコトハ。俗輩ノ禁忌ヨリ出
ヅ。論スルニモ及バサル事也。今韻學者流ノ名諱
ヲ反切スルハ。反切ノ大意ヲ知ラサルノ弊ナリ。
反切ノ大意ハ。人ノ讀ミヨクカカラニ文字ヲ反切シ
テ。切韻ノ二字ヲ制セスルト。人ノ反切セシ切韻ノ
二字ヲ反切シテ。其歸納ノ音ヲ知ルトノ用ナリ。
名諱ヲ反切スルニハ。切韻ノ二字ヲ先ジ制シ。ソ
レヲ反切シテ其歸納ノ音ノ美ビ惡アクニ因テ其吉凶
ヲ定ルコトナレバ。其制シタル名諱ノ文字ヲ切

韻トナシテ反切スルニ韻圖面ニ於テ歸納ノ窠
ニ文字ノ有ルモ有リ。或ハ文字ノ無モ有ルベシ。
韻圖ノ文字ハ古ノ反切ノ切韻ノ位ヲ正シテソ
レクニ填タルモノニテ空窠ノ所ハ元來文字ハ
無キ所也。名諱ヲ反切スル時其歸納ノ字又ハ逆
反トテ切韻ノ二字ヲサカサマニ反切シタル歸
納ノ字。其外九弄ナドヲ成シテ三十二字ヲ一々
ニ文字ヲ求ムルニ其空窠ニアヘバ彼ノ種々ノ
門法ヲ用ヒテ其位ノ外ニテ文字ヲ求ム其勞煩

イハニカタ無シ殊ニ類隔往還又ハ隣韻通借ナ
ド云フ事ヲ立テ音韻少モ調ハザルノ文字ヲ
求ム。是大一反切ノ法意ニ背ケル事多シ。學者必
ズ之ヲ辨ゼズンバ有ルベカラズ。

音韻ノ意義

音トハ物一品ツ、別々ニ已ガ聲ヲ出スコト也。
其品別ナレバ其聲モ亦相和サザル所有リ。是ヲ
音ト云フ也。脣舌牙齒喉半舌半齒ヲ七音ト云フ
又是ニ各清次清濁清濁ノ差別有ルニ因テ合フ

二十三音トナル。又其中ニ脣舌齒ノ三音ニハ各
 輕重アリ之ヲ加フレバ三十六音トナルナリ。天
 下ノ字音種々ニ別ルトイヘ。此三十六音ノ外
 ニ出ズ。凡反切ノ法ハ切字ノ音。此脣舌牙齒等ノ
 三十六音中ノ何レゾト吟味シテ置キ。此ト同音
 ナル歸納ヲ取ル也。韻トハ物品々々ヒビキ有ル時。
 其物モト同類ニテ其調ノヨク相和スル事也。故
 ニ文字ヲ多ク集テ呼デ見ルニ。其餘聲合ガ彼ト
 彼ト同ク一類。此ト此ト同ク一類ト。其類自ラ別

ル、所アリ。此ヲ五十字文ニ試ミテ其意ヲ會得
 スベシ。五十字文ニ試ムトハ、カ(サ)タ(ナ)ハ(マ)ヤ(ラ)
 (ワ)ノ九聲ハ之ヲ呼ブニ。其餘聲各アニヒバク故
 ニ。此横ノ一等同韻ニシテ一類也。又キ(シ)チ(ニ)ヒ
 (ミ)イ(リ)井ノ九聲ハ之ヲ呼ブニ。其餘聲各イニヒ
 バク故ニ。此横ノ一等同韻ニシテ一類也。五等皆
 此ノ如ク。(ウ)ノ横ノ一等ハ各(ウ)ニヒバキ。(エ)ノ横
 ノ一等ハ各(エ)ニヒバキ。(オ)ノ横ノ一等ハ各(オ)ニ
 ヒバク也。其韻タガヒニ相通スル字ヲ同韻ト云

區別スルニ

フ。震且ノ韻ハ其ヒビキアヒヲ委ククベク區別スルニ
 因テ。東冬江等ノ韻四十七韻有リ。此四十七ニ平
 上去入ノ四聲ヲ備フ。合テ二百六韻トナル。是古
 韻ニシテ韻鏡ニ載ル所也。平水ノ劉澗ト云フ人。古韻二百六韻ノ中。タ
ガヒニ相通ジ同用ナルモノヲ考ヘ之ヲ合テ。一
百七韻ト為セリ。是ヲ平水韻ト稱ス。唐宋以來詩
家ノ據ル所。天下ノ文字ノヒビキアヒ。此二百六
 ノ韻是ナリ。韻ニ屬セサルハナシ。台邦ノ如キハ訓語ノ用フ
 ル故ニ音韻ノ事ハ甚疎略ニシテ。三十六音。二百
 六韻等ノ精密セイミツノ法ナシ。凡反切ノ法ハ上ニ云フ

カ如ク。三十六音ノ中ニテ切字ノ音ニ同ジキ歸
 納字ヲ求ムル時ニ。其歸納字韻字ノヒビキアヒ
 ト同類ナルヲ用ヒザレバ成ラズ。故ニ二百六韻
 ノ中ニテ。韻字ノヒビキアヒニ同ジキ字ヲ求メ
 テ。歸納字ヲ定ムル也。反切ノ法此ノ如クニ。三十
 六音。二百六韻ノ詮議第一ノコト故ニ反切ノ法
 ヲ音韻ノ學ト云フ。故ニ古ヨリシテ音トイヘバ
 唇舌牙齒等ノ七音ノ稱ヲサシ。韻トイヘバ。東冬
 江等ノ二百六韻ノ稱ヲサスコト也。

切韻ノ意義

切韻ノ二字上ナルヲ切ト稱シ。下ナルヲ韻ト稱ス。切トハ。反切ノ切ト同ジコトニテ。凡ソ反切ノ體ハ專ラ上ノ字ニテ立テ。下ノ字ハ其ヒバキ相ニテ歸納ヲ發スル也。故ニ其反切ノ切ノ專ラナル意ヲ取テ。上ノ字ヲ切ト稱ス。此切ノコトヲ父字ト云ヒ。韻ノコトヲ母字ト云フコト韻學者流ノ通稱ナレバ。震旦ノ韻書ニハ專ラ切字韻字ト稱シテ。父字母字ノ稱ハ稀ニアリ。韻ノ字義ハ上

ノ音韻ノ條ニ論ゼリ。母字ヲ韻ト稱スルユエハ。此母字ニ二百六種ノ差別有テ。歸納字ハ母字ノヒバキアヒニテ發ス。故ニ母字ヲ韻ト稱ス。凡ソ此切韻ノ二字ヲ反切ニテ歸納字ヲ求ムル法ハ。切韻兩字ノ音ト音トヲ以テワバメテ一音トスル也。タトヘバ德紅切ニテハ。トクノト。コウノコト。此二字ヲ以テ道ハクセウシテ一音トシテト。スル也。トクノクト。コウノウトノ餘聲ハシバラク用ヒズ。東ノ字ノ歸納ニ定マルニ付テ德紅ノ切東也コ

ウノウヲ用テ餘聲トシトウノ音トスル也。支微
 ノ韻ノ如キ國音ニテ一字ノ假名ノ文字ハ直ニ
 其音ト音トバカリニテ反切シテ其音ヲ求メ餘
 聲ハツケサル也。然レモ唐音ニテ餘聲無ヤウナ
 ルハ入聲ノミ也。此唐音ノ入聲ツマル音ナレバ
 粗ク之ヲ論ズレバヒビキ無キニ似タレモ精ク
 之ヲ論ズレバ口中ニテ其韻ヲワカウ故ニ入聲
 ノ韻三十四ニ分テリ。國音ノ入聲ニフツクチキ
 ヲ添タルモ其所由ノアルコトナニ思ハルハ

也。唐音ニテ德ノ字ヲバトハバカリ呼
 ビ日ノ字ヲバトバカリ呼ブナリ

七音

唇音。舌音。ノ字ヲツメテ呼ビ音トシ
 如ク聞ユルヤウニ唱フ 牙音。齒音。
 喉音。半舌音。半齒音。此ヲ七音ト云フ。(ハ) (ヒ) (フ) (ヘ) (ホ)
 (マ) (ミ) (ム) (メ) (モ) ノ十字唇音ニ入ル。唇ニサハリテ出
 ル音也。中ニモ漢音ハ。(ハ) (ヒ) (フ) (ヘ) (ホ) ノミ也。(マ) (ミ) (ム)
 (メ) (モ) ハ。吳音ニ有ル音也。(タ) (チ) (ツ) (テ) (ト) (ナ) (ニ) (ヌ) (子) ノ
 ノ十字。舌音ニ入ル。舌ヲユルガシテ呼ブ音ナリ。
 中ニモ漢音ハ。(タ) (チ) (ツ) (テ) (ト) ノミ也。(ナ) (ニ) (ヌ) (子) ノハ。

吳音ニアル也。カキクケコノ五字ハ牙音ニ入ル。
 奥^{オク}齒ヨリ出ル音也。牙トハ奥齒ノコトナリサシスセソノ五
 字ハ齒音ニ入ル。齒ヨリ出ル音也。齒ハ前齒ナリアイウ
 ⑤オノ五字ハ喉音ニ入ル。咽喉ヨリ出ル音也。然
 ルニ此喉音ハ入りマジリタル音也。國音ニテハ
 第一行第四行バカリガアイウエオワ井ウエヲ
 ヤイユエヨニテ。第二行第三行ニハカキクケコ
 有リ。牙音ニマギラハシ。牙音ニ有ルカキクケコ
 ハ奥齒ニテ呼ビ喉音ニ
 有ルカキクケコハ。喉ノ奥ニ
 テ呼ズ。是ヲ以テ區別スベシ。唐音ニテハ。第一行

第三行第四行ハアイウエオニテ。第二行ニハハ
 ヒフヘホ有リ。脣音ニマギラハシ。脣音ニ有ルハ
 ニ觸レテ出ル音。喉音ニ有ルハラリルレロノ五字
 ハ。半舌音ニ入ル。半舌音ハ實ハ半舌半齒音ナリ。
 略^{リヤク}シテ半舌音ト云フ。ラリルレロノ五字。一字ノ
 國^カ字ナレバ。此國字ハ。一字ニ二音マジリテ。五音
 ノ中。二音ヘ跨^マガリテ。一字ヲ呼ブニ。半分以上ヲ
 舌ニテ呼ビ。半分以上ヲ齒ニテ呼ブ故ニ。半舌半
 齒音ト云フ。サシスセソノ五字ノ濁音ハ。半齒音

ニ入ルモト尤モ此ハ漢音ト唐音トニ因テミレバカ此

ノゴトシ。吳音ニテハ。此音ニナニ又子ノノ國字

入レリ。舌音ニマギラハハ。舌音ニ入ルナニハ舌ヲユルガシテ

呼ビ。半齒音ニ入ルナニ又子ノハ一字ノ音ノ中

ヲ半分以上ハ齒ニ當。半分以上ハ舌ヲ揺カシテ

呼フ。是ヲ以テ唐音ニテハガジズセゾノ濁音。齒

音ノ中ニ入ルモ有リ。此半齒音ニ入ルモ有リ。然

ルニ齒音ノ方ハ濁音也。半齒音ノ方ハ清濁音也。

并シ又セヲ全濁ニ呼ベハ。齒音ノ中ニ入ル所

ニシテ。禪母ノ音也。半濁ニ呼バ。半齒音ニ入ル所

ハ。并シ又セヲトナニ又子ノノ間ノ音ニシテ國

字ニアラハシカキ音也。是ヲ呼ブニハ。鼻ニ又ケ

テ出ル音也ト。心得レバ。呼ビ得ル也。唐人モ是ヲ

禪日別還ルト云フコト有ルナリ。此モ實ハ半齒

半舌音也。略シテ半齒音ト云フ。此モ上ニ云フ如

ク。并シ又セゾノ五字。一字ノ國字ナレバ。此國字

モ一字ニ二音マジリテ。五音ノ中ニ音ヘ跨ガリ

テ。一字ヲ呼ブニ。半分以上ヲ齒ニテ呼ビ。半分以上

下ヲ舌ニテ呼ブ故ニ。半齒半舌音ト云フ。樂曲ノ

調子ニ。宮商角徵羽變宮變徵ト云フ七調アリ。是

ニ比シテ韻圖ニ七音ヲ立ルト也。此半舌半齒ノ

兩音ヲ韻圖ニ圖スルコト左ノゴトシ。

舌 清濁	
音	
齒 清濁	

横ニ舌音齒ト。シルセルコト略圖也。右ヨリハ舌齒音ト讀ムベク。左ヨリハ齒舌音ト讀ムベシ。此韻圖ヲヨムノ法也。右ヨリ讀ムニハ。舌音ト云フ中ニ。齒ノ字ヲトリコシ。舌ニ齒ヲ添フル心ナリ。是半古半齒ト云フ義ヲ示セル也。左ヨリ讀ムニ

ハ齒音ト云フ中ニ。舌ノ字ヲトリコシ。齒ニ舌ヲ添フル心也。是半齒半舌ト云フ義ヲ示セル也。

三十六字母

三十六字母ハ衆音ノ根本ナレバ。韻學ノ要訣ニシテ字音ヲ律正スルノ準繩也。之ヲ正ウセズンバアルベカラズ。漢音。吳音。唐音各其音ノ正ク清濁ヲ明カニ熟讀誦スベシ。是韻學ノ急務也。今七音ト清濁トヲ縱横ニ配當シ更ニ呼法ヲ記シ。三音ヲ正シ共ニ國字副シテ以テ音門ノ童蒙ニ

示ス。三音國字副ノ例 右旁漢音 下枕州音也 漢吳
 音トモニ同キモノハ 左旁吳音ノ國字ヲ略ス。又
 非ヲフ井ト國字スルノ如キハ合音ニ屬スルノ
 文字ニ據音ヲ用フルノ例ニ從フ。然レ凡通音ノ
 如ク閉ルヤウニ録スモノハ韻鏡ノ何テ呼マ
 ス。上ニ各何轉ト録スモノハ韻鏡ノ何テ呼マ
 ル字ト云フコトヲ審ラカ
 ニ知ラニガタメナリ。四聲ハ
 上平角ニ印セリ

三十六字母正音七音清濁縱橫配當圖

唇重音	轉二十三	幫	金清
	轉一十三	滂	次清
	轉五十三	並	金濁
	轉二十三	明	清濁

脣輕音	轉十第	非	口合
舌頭音	轉四十二	端	口合
舌上音	轉四第	知	齒咬
牙音	轉三十二	見	齒齊
齒頭音	轉三十二	精	齒齊
細齒頭音	轉八十三	心	口閉
	轉三十三	清	齒齊
	轉三十三	溪	齒齊
	轉三十二	徹	齒齊
	轉七十三	透	口開
	轉二十	敷	口合
	轉九十二	邪	齒齊
	轉二第	從	口撮
	轉二十	羣	口撮
	轉二十四	澄	齒齊
	轉五十三	定	齒齊
	轉二第	奉	口撮
	轉八第	疑	齒齊
	轉一十三	孃	呼齒齊似
	轉三十	泥	齒齊
	轉十第	微	口合

唇輕唇重齒頭麤細正齒麤細等ノ七音明ラカニ
四聲正シク開合齊齒撮口等ノ呼法ニ從ワテ字
音ヲ呼ブベシ。三音各俗音有テ正シカラズ。故ニ
一々律正シテ指揮ス。正スコト悉ク反切ニ依ル。
疑惑スルコト勿シ。又漢吳二音ノ清濁ヲ論ビバ。
上ニ圖スル如ク。漢音ハ全清。次清。全濁。ノ三音共
ニ皆清音ト為シテ一字モ濁音ヲ襟フルコトナ
カレ。清濁ノ中明敬泥孃疑日ノ六母所屬ノ字ヲ
濁音ト為シ喻來二母ノ所屬ハ清音ト為スナリ。

吳音ハ全清。次清。ノ二音ヲ共ニ清音ト為シ。全濁
音ハ其マ、濁音ト為シ。清濁音ノ中ノ疑母所屬
ノ字ヲ濁音トナシ。其餘ハ皆清音ト為ス也。コレ
則チ二音ヲ律正スルノ要訣也。此規矩ヲ固守シ
テ其清濁ヲ分別スベシ。
三十六字母トハ震旦ノ文字三萬有餘アリ。一字
多音ニ涉リテ十餘萬ノ音アリトイヘド。其音ノ
根本ヲ究ムルニ七音ノ外ニ出ズ。其七音中ニ唇
音ニ輕重アリテ各清。次清。濁。清濁。ノ差別アレバ。

八種ノ上音トナル。舌音ニモ舌頭舌上ノ二音アリ。各清。次清。濁。清濁ノ差別アレバ。是モ亦八種ノ音トナル。牙音ハ重音ノミニシテ。清。次清。濁。清濁ノ差別アリテ。四種ノ音トナル。齒音ニ齒頭正齒ノ二音アリ。各麤細ノ差別アレバ。二清一濁ト次清ト有リテ清濁ナク十種ノ音トナル。半舌音ニ一種有リ。半齒音ニ一種有リ。合テ三十六種ノ差別ヲ以テ天下ノ字音ヲ總括ス其音正ニキ字ヲ一字ヅク撰ヒ出シテ字母ト稱シ列テ三十六トナ

シタルモノ也。字母トハ。上ニ云フ切韻ノ韻ヲ母子ヲ生ズルノ義也。先ヅ其音正ニキ文字。一字ヲ定メテ。衆字ノ總統トシ。一字ヲ定ムルトハ。譬へ唇音ノ清行平聲第一等ニ在リ。此一字ヲ撮テ。韻圖總テ四十三轉ニ涉リ。唇音清行平上去入ノ四聲ニ通シ。第三等ノ輕音ノ文字ヲ除キ其餘四等トモニ此行ニ在ル所ノ文字。及韻圖ニ載セガハ天下ノ文字此行ニ撮マルベキ文字ノ總統ト為スヲ云フ也。三十六字母皆爾ル餘ハ準ヘテ知ルベシ。是ヲ準トシテ。ソレニ屬セル數千ノ文字ヲ生出セバ。人ノ母タルモノ。衆子ヲ生ズルニタトヘテ字母ト云フ也。字母ヲ定メテ三十六音ノ總

韻學音義

七

ノ韻也。鏡ノ字ハ韻鏡第三十三三轉牙音清行去聲第三等。故ノ字ト併音。見母

ニ從フ。カキクケコノ類也。敬ノ韻母ニ屬スレバ

漢音イノ韻。吳音ヤウノ韻也。又反切ヲ用レバ、韻

ノ字ノ如キハ字母ノ喩ヲ切父トシ韻母ノ震ヲ

韻母トシテ、唐人反ノ法ヲ以テ唇弄ニテ呼ベバ、

イユインエンインノ音也ト知ル。又鏡ノ字ノ音

ヲ知ント欲セバ、字母ノ見ヲ切父トナシ韻母ノ

敬ヲ韻母トスレバ、漢音ハケキンケンケイノ音。

吳音ハケキンケンキヤウノ音也ト知ル也。若シ

其音胡亂ナルガ如ク覺エバ、更ニ横呼十六聲ヲ

正スベシ。十六聲ヲ正スノ法ハ上ノ韻鏡ノ條ニ論ズ。是韻書字書ニ載

ル反切ノ音ヲ借ラザレバ、韻鏡圖面ニテ直ニ某

々ノ字音ヲ明ラメ知ルノ妙訣也。三十六母ノ正

音ト二百六韻母ノ正音ヲダニ知レバ天下數萬

ノ字音ヲ正スコト何ゾ難キコトカアラニ。漢吳

二音ノミナラス。唐音ヲ正スコトモ亦同格ナリ。

唐音ヲ正サント欲セバ、三十六字母ト二百六韻

母トテ杭州音ニ正シク呼ベシ。唐音ニ品類多シ。漳州福州杭州南

韻字指掌上

四二

京中州等ノ不同有リ。今杭州音。杭州ハ相傳テ云

ヲ用ス。磨光韻鏡ノ據ル所是也。杭州ハ相傳テ云

ス。震旦第一ノ正音也。ト。三音共ニ偽正雜ハレ

其謠ヲ韻鏡ニ正セバ明カ也。世人其訣ヲ知ラズ

彼土ノ人ノ呼ベル音ハ一々正シキ音也。ト思ヘ

ルハ。怒ヘル也。震旦壤地曠大ナレハ諸方ノ音均

シカラズ。此等ヲ正ス亦歴世ノ韻書アリ。唐ニ唐

韻アリ。宋ニ廣韻アリ。元ニ蒙古韻アリ。明ニ正韻

アリ。此ノ如キ韻書ニ協フヲ正音ト稱シ之ニ乖

ヲ謠音ト云。韻鏡ヲ學ビ得テ後ニ是非得失ヲ知

ルヘシ。凡反切ハ切字ノ音ト歸納字ノ音ト合ガ

レバ。字音生セズ。スム字ハ。スム字ニ合ヒ。輕キ字

ハ。カロキ字ニ合テ音生ズ。清ム字ト濁ル字トハ

合ハズ。輕キ字ハ重キ字ニ合ハズ。合ザルトキハ

音和セザルナリ。故ニ字母ヲ定メテ之ヲ別ツ也。

其音ヲ吟味セズニバアルヘカラズ。

十六攝ノ義

十六攝ハ古韻相通スルノ分別也。韻鏡四十三轉

ヲ内外十六攝ニ配シテ。通江止遇等ノ字ヲ題ス

是ヲ攝ト云フ。攝ハカヌル也。多韻ヲカ子スブル

韻學本義

韻學本義

心カ。故ニ一攝ニ數轉ヲカヌ。通攝ハ第一第二ニ涉リ。止攝ハ第四轉ヨリ第十轉ニ涉リタルガ如シ。各一類一類ヲ一攝トナシ。其攝内ハ通韻スベキ音也。文選ノ古詩ナドニ用ヒタル通韻。此攝ニ依テ見レバ。能ク相ワカル也。然レハ是古韻ノ韻母ナルモノカ。今韻鏡ニ二百六韻ヲ分テ。四十三轉ニ開クトイヘレ。古韻ノ十六攝ヲ以テ統括シタルモノ也。古ノ韻ハ四聲混ジテ通用スト云ヘルコト。韻統全書通雅古音表等ニ見エタリ。

十六攝正音

右漢音 左吳音

下杭州音

凡テ國字副ノ例ハ上ノ三十六字ノ母ノ圖ニ同シ

通 <small>ツウ</small> ト <small>ト</small> 合	蟹 <small>カイ</small> ヤ <small>ヤ</small> 齊	果 <small>クワ</small> コ <small>コ</small> 合	流 <small>リウ</small> リ <small>リ</small> 齊
江 <small>カウ</small> キ <small>キ</small> 開	臻 <small>シ</small> ツ <small>ツ</small> 開	假 <small>カ</small> キ <small>キ</small> 高	深 <small>シ</small> シ <small>シ</small> 閉
止 <small>シ</small> ツ <small>ツ</small> 齊	山 <small>サン</small> ス <small>ス</small> 齊	宕 <small>ダウ</small> ダ <small>ダ</small> 混	咸 <small>カン</small> ア <small>ア</small> 齊
遇 <small>ユ</small> イ <small>イ</small> 齊	效 <small>カウ</small> ア <small>ア</small> 齊	梗 <small>カウ</small> コ <small>コ</small> 開	曾 <small>ソウ</small> ツ <small>ツ</small> 開

二百六韻母正音圖

韻學

四

東
 冬
 用
 江
 支
 支
 脂

第六轉開	第五轉合	第四轉開	第三轉開	第二轉合	第一轉合
脂 ツ イ 口合	支 ツ イ 口合	支 ツ イ 口合	江 カ キ 口開	用 ユ ヨ 口撮	東 ツ イ 口合
日 ヒ ツ イ 口合	紙 シ ツ イ 口合	紙 シ ツ イ 口合	講 カ キ 口開	沃 ウ ウ 口合	鍾 ツ イ 口撮
至 ツ イ 口合	寔 ツ イ 口合	寔 ツ イ 口合	絳 カ キ 口開	燭 ウ ウ 口撮	腫 ツ イ 口撮
			覺 カ キ 口開	宋 ツ イ 口撮	尾 ウ ウ 口合

第十二轉合	第十一轉開	第十轉合	第九轉開	第八轉開	第七轉合
暮 ム モ 口合	摸 ム モ 口合	魚 ギ イ 口開	微 ム ウ 口合	之 ツ イ 口合	脂 ス ツ イ 口合
遇 イ イ 口撮	虞 イ イ 口撮	語 ギ イ 口開	尾 ム ウ 口合	止 ツ イ 口合	日 ヒ ツ イ 口合
姚 ム モ 口合	御 ギ イ 口開	未 ム ウ 口合	未 ム ウ 口合	志 ツ イ 口合	至 ツ イ 口合
虞 イ イ 口撮		廢 フ フ 口合	廢 フ フ 口合		

十三轉開

十四轉合

十五轉開

佳 クヱ キヤ 齒齊	夬 クヱ クワイ 口合	隊 ヅヱ ドイ 口合	灰 クヱ ホイ 口合	霽 サイ ソイ 齒齊	駭 ガイ ヤイ 口開	哈 カイ ハイ 口開
蟹 クヱ ヤイ 齒齊	怪 クヱ クワイ 口合	皆 クヱ キヤ 口合	夬 クヱ クワイ 齒齊	霽 サイ ソイ 齒齊	皆 ガイ キヤ 齒齊	
泰 クヱ タイ 齒齊	祭 スヱ ソイ 口合	齊 ズヱ ソイ 口合		代 ダイ ダイ 口開	齊 ガイ ソイ 齒齊	
卦 クヱ クワイ 齒齊	霽 スヱ ソイ 口合	賄 クヱ ホイ 口合		怪 クヱ クワイ 齒齊	海 カイ ハイ 口開	

十六轉合

十七轉開

十八轉合

祭 サイ ソイ 口合	佳 クヱ キヤ 口合	痕 ゴ エ 口開	軫 クヱ キム 閉呼齒	櫛 クヱ ソイ 齒齊	鬼 クヱ ソイ 口合
蟹 クヱ ヤイ 口合	解 クヱ ヤイ 口合	臻 クヱ ソイ 口開	根 ゴ エ 口開	質 クヱ チ 齒齊	導 クヱ チ 口撮
泰 クヱ タイ 口合	眞 クヱ キム 閉呼齒	震 クヱ キム 閉呼齒	混 クヱ ソイ 口合		
卦 クヱ クワイ 口合	根 ゴ エ 口開	沒 モ エ 齒齊	準 クヱ ソイ 口撮		

二十四轉合

二十三轉開

恒 クアム グアム 口合	曷 カウ カナ 口開	翰 カン ガ 口開	旱 カン ガ 口開	寒 カン カ 口開	鎡 カウ グエチ 口合	獮 スエム スエシ 口撮
剛 スワム スエム 口合	黠 カウ ケナ 口開	諫 カン ケ 齒齊	潛 サン セ 齒齊	刪 サン セ 口開	月 グエウ グアチ 口撮	禡 クアム クエム 口合
仙 スエム スエシ 口撮	薛 セウ セナ 齒齊	線 セン セ 齒齊	獮 セン セ 齒齊	仙 セン セ 齒齊	薛 スエウ スエチ 口撮	願 グエム グアム 口撮
先 スエム スエシ 口撮	屑 セウ セナ 齒齊	霰 セン セ 齒齊	銑 セン セ 齒齊	先 セン セ 齒齊		線 スエム スエシ 口撮

二十二轉合

二十一轉開

二十轉合

十九轉開

山 スワム スアム 口合	線 セン セ 齊齒	阮 ゲン グワ 齊齒	山 サン セ 齊齒	文 ブム ム 口合	欣 キン ヒム 齊齒	恩 フアン フオン 口合
元 グエム グワ 口撮	鎡 カウ ケ 齊齒	獮 セン セ 齊齒	元 ゲン グワ 齊齒	物 ブム ム 口合	隱 イン イム 齊齒	擗 フオン フオン 口撮
仙 スエム スエシ 口撮	月 グエウ グワ 齊齒	禡 カン ケ 齊齒	仙 セン セ 齊齒	問 ブム ム 口合	愀 キン ヒム 齊齒	沒 フオン フオン 口合
阮 ゲン グワ 口撮	薛 セウ セナ 齊齒	源 ゲン グワ 齊齒	産 サン セ 齊齒	物 ブム ム 口合	迄 キツ ヒ 齊齒	術 フオン フオン 口撮

三十二轉合	三十一轉開	三十轉合	二十九轉開	二十八轉合	二十七轉開
唐 <small>ワウカ</small> ダウ 口合	宕 <small>タウ</small> ダン 呼混	唐 <small>タウ</small> ダン 口開	麻 <small>マ</small> マア 口合	戈 <small>クア</small> コウ 口合	歌 <small>カ</small> コラ 口開
陽 <small>ユウ</small> ヤン 口合	漾 <small>ヤウ</small> ヤン 呼混	陽 <small>ヤウ</small> ヤン 呼混	馬 <small>マ</small> マア 口合	果 <small>クア</small> コウ 口合	哿 <small>カ</small> コラ 口開
蕩 <small>ダウ</small> ダン 口合	鐸 <small>ダク</small> ダウ 口開	蕩 <small>ダウ</small> ダン 呼混	禡 <small>マ</small> マア 口合	過 <small>クア</small> コウ 口合	箇 <small>カ</small> コラ 口開
養 <small>ユウ</small> ヤン 口合	藥 <small>ヤク</small> ヤウ 呼混	養 <small>ヤウ</small> ヤン 呼混			

二十六轉開	二十五轉開				
宵 <small>エヤウ</small> スヤウ 齒齊	號 <small>カウ</small> アウ 口開	皓 <small>カウ</small> アウ 口開	豪 <small>カウ</small> アウ 口開	末 <small>フワウ</small> モウ 口合	換 <small>クアム</small> ワン 口合
小 <small>エヤウ</small> スヤウ 齒齊	效 <small>カウ</small> アウ 齒齊	巧 <small>カウ</small> キヤウ 齒齊	爻 <small>カウ</small> アウ 齒齊	黠 <small>クアウ</small> エウ 口合	諫 <small>クアム</small> キエン 口合
笑 <small>エヤウ</small> スヤウ 齒齊	笑 <small>エヤウ</small> スヤウ 齒齊	小 <small>エヤウ</small> スヤウ 齒齊	宵 <small>エヤウ</small> スヤウ 齒齊	薛 <small>スエウ</small> スエウ 口撮	線 <small>スエウ</small> スエウ 口撮
	嘯 <small>エヤウ</small> スヤウ 齒齊	條 <small>エヤウ</small> スヤウ 齒齊	蕭 <small>エヤウ</small> スヤウ 齒齊	屑 <small>スエウ</small> スエウ 口撮	霰 <small>スエウ</small> スエウ 口撮
					獮 <small>スエウ</small> スエウ 口撮
					銑 <small>スエウ</small> スエウ 口撮

三十三轉開

昔 <small>スエキ</small> スエキ スエキ スエキ	諍 <small>シヤウ</small> シヤウ シヤウ シヤウ	庚 <small>カウ</small> カウ カウ カウ	昔 <small>セキ</small> シヤウ シヤウ シヤウ	諍 <small>サウ</small> シヤウ シヤウ シヤウ	庚 <small>カウ</small> カウ カウ カウ	宕 <small>ダウ</small> ダウ ダウ ダウ
呼混	口合	口合	齒齊	口開	口開	口合
	敬 <small>ケイ</small> ケイ ケイ ケイ	清 <small>セイ</small> セイ セイ セイ		敬 <small>ケイ</small> ケイ ケイ ケイ	清 <small>セイ</small> セイ セイ セイ	漾 <small>ヤウ</small> ヤウ ヤウ ヤウ
	呼混	呼混		齒齊	齒齊	口合
	勁 <small>ケイ</small> ケイ ケイ ケイ	梗 <small>ケイ</small> ケイ ケイ ケイ		勁 <small>ケイ</small> ケイ ケイ ケイ	梗 <small>ケイ</small> ケイ ケイ ケイ	鐸 <small>ダク</small> ダク ダク ダク
	呼混	口合		齒齊	口開	口合
	陌 <small>バク</small> バク バク バク	靜 <small>セイ</small> セイ セイ セイ		陌 <small>バク</small> バク バク バク	靜 <small>セイ</small> セイ セイ セイ	藥 <small>ヤク</small> ヤク ヤク ヤク
	口合	呼混		口合	齒齊	口合

三十四轉合

三十五轉開

三十六轉合

三十七轉開

有 <small>イウ</small> イウ イウ イウ	侯 <small>コウ</small> コウ コウ コウ	徑 <small>ケイ</small> ケイ ケイ ケイ	耕 <small>ケウ</small> ケウ ケウ ケウ	徑 <small>ケイ</small> ケイ ケイ ケイ	靜 <small>セイ</small> セイ セイ セイ	耕 <small>カウ</small> カウ カウ カウ
齒齊	口開	呼混	口合	齒齊	齒齊	口開
黠 <small>イウ</small> イウ イウ イウ	尤 <small>イウ</small> イウ イウ イウ	麥 <small>マク</small> マク マク マク	青 <small>セイ</small> セイ セイ セイ	麥 <small>マク</small> マク マク マク	迴 <small>ケイ</small> ケイ ケイ ケイ	清 <small>セイ</small> セイ セイ セイ
齒齊	齒齊	口合	呼混	口開	齒齊	齒齊
候 <small>コウ</small> コウ コウ コウ	幽 <small>イウ</small> イウ イウ イウ	錫 <small>セキ</small> セキ セキ セキ	迴 <small>ケイ</small> ケイ ケイ ケイ	昔 <small>セキ</small> セキ セキ セキ	諍 <small>サウ</small> サウ サウ サウ	青 <small>セイ</small> セイ セイ セイ
口開	齒齊	呼混	呼混	齒齊	口開	齒齊
宥 <small>イウ</small> イウ イウ イウ	厚 <small>コウ</small> コウ コウ コウ		諍 <small>サウ</small> サウ サウ サウ	錫 <small>セキ</small> セキ セキ セキ	勁 <small>ケイ</small> ケイ ケイ ケイ	耿 <small>ケイ</small> ケイ ケイ ケイ
齒齊	口開		口合	齒齊	齒齊	口開

三十八轉開

三十九轉開

三十八轉ヨリ
四十一轉ニ及
テ磨光韵鏡ニ
合ニ作ル今更
テ開ニ作ルト
イヘ氏唐音ノ
假字及呼法等
ハ未タ改メズ

四十轉開

談 タム 口閉	合 アム 口閉	勘 カム 口閉	感 カム 口閉	覃 ダム 口閉	侵 ツイム 口閉	幼 イウク 齒齊
銜 アム 而捲齊 口閉	洽 アム 而捲齊 口閉	陷 アム 而捲齊 口閉	賺 アム 而捲齊 口閉	咸 アム 而捲齊 口閉	寢 ツイム 口閉	
嚴 イム 口閉	葉 エム 口閉	豔 エム 口閉	琰 エム 口閉	鹽 エム 口閉	沁 ツイム 口閉	
鹽 エム 口閉	帖 テム 口閉	禡 テム 口閉	泰 テム 口閉	添 テム 口閉	緝 ツイツ 口閉	

四十一轉開

四十二轉開

四十三轉合

凡 ウム 口閉	盍 アム 口閉	闕 カム 口閉	敢 カム 口閉	登 トエム 口開	嶝 トエム 口開	登 トエム 口合
范 ウム 口閉	狎 アム 而捲齊 口閉	鑑 カム 而捲齊 口閉	檻 アム 而捲齊 口閉	蒸 チム 齒齊	證 チム 口開	蒸 チム 口合
梵 ウム 口閉	業 イム 口閉	釅 イム 口閉	儼 イム 口閉	等 トエム 口開	德 トセム 口開	德 トセム 口合
乏 ウム 口閉	葉 エム 口閉	豔 エム 口閉	琰 エム 口閉	極 チム 齒齊	職 チム 齒齊	職 チム 口合

韻字格第上

五十一

右掲出スル所ノ開合ノ事ハ諸家細密ニ考テ韻
 鏡四十三轉中ニ究メタリト雖モ諸本互ニ誤テ
 一定ナラズ然ルヲ無相氏磨光韻鏡ニ是ヲ正シ
 是ヲ改メラレタルガ中ニ第十一轉第三十八轉
 第三十九轉第四十轉第四十一轉合ニ作ルハ非
 也今更メ是ヲ開ニ作ル也如是セザレバ古代ノ
 音韻ニ協ハズ此ニ於テ本居氏是ヲ皇朝古言ノ
 正聲ニ參考シテ字音假名用格ニ改テ開音ト為
 ベキ旨ヲ迷ラレタリトイヘモ第十一轉ヲ漏ラ

サレタリ故ニ於遠ノ二音於ハ第十一轉遠ハ共
 第二十二轉ニ在リ
 ニ合轉ニ屬シテ第十一轉合
 從フ故也差別ナク伊為伊ハ
 第六
轉ニ在テ開音為ハ第九轉ニ在テ開
 五轉ニ在テ合音ナリ衣慧
 音慧ハ第十四轉ニ在
 テ合音也等ノ開合ノ差別アル格ニ合ハザルニ窮セ
 リサレバ於ノ字ニ必開音ノアルベキ所以ヲ深
 ク覈ヘテコレガ為ニ字音開合指掌圖ヲ新製シ
 テ於ノ字開合兩端ニ涉ル音也ト云フコトヲ示
 シ伊為衣慧於遠等ノ字音開合ニテ區別スルコ
 トヲ審ニ論ジラレタルハ此學ニ大功アリタミ

惜ムラクハ韻鏡ニテ盡サバルコトヲ。然ルヲ幸
 ニ太田氏有テ是ヲ博ク諸書ニ考ヘ遠ク思ヒテ
 釋連窩ノ本ニ原テ。漢吳音圖ニ第十一轉ヲ開ニ
 作レリ。其圖說ニ云。管子小問篇ニ日者臣視二君
 之在臺上也。口開而不闔。是言莒也。莒音 呂氏春秋
 重言篇ニ君呿而不唞。所言者莒也。莊子秋水篇ニ
 口呿而不合。呿音 玉篇ニ欠。故張口也。故或作呿。莊
 子肱筮去魚。切音墟。正韻發也。開也。コレ莒呿。肱ノ
 三字皆發開ノ音ナルヲ知ルベシ。又通雅十二開

合說ニ偏口之開。注以居余對都蘇模。夫言之則為
 偏開。然音清細。居余ハ第十一轉。都蘇模。夫ハ第十二轉ノ字ナリ。 是ニ由テ
 觀レバ。第十一轉ノ文字古音ハ開口ナルコト了
 然タリ。シテ後世漸轉訛シテ終ニ合口ニマギレ
 タル也。故ニ日月燈ニハ合口呼トシ。洪武正韻ニ
 ハ模韻撮口呼ニ收メタルヲ方密之改メテ偏口
 之開トセリト。此ノ如クナル確徵アル時ハ何ゾ
 開合指掌圖ヲ新製スル一及ブヘケンヤ。

一百七韻母圖 稱平水韻

韻鏡四十三轉ニ配ハクスル所ノ韻母。四聲通計ニテ
 二百六韻アリ。是古韻ノ數ナリ。其二百六韻ノ中
 通ニ用フベキ韻アルヲ以テ。平水ノ劉淵リウエント云フ
 者之ヲ併セテ。一百七韻トナセリ。世ニ是ヲ平水
 韻ト稱ス。韻會ノ據ルトコロニシテ唐宋以來詩
 家ノ用フルモノ是也。本邦ノ聚分韻略ニ。一百十
 五韻ヲ立ルハ據ヲ知ラズ。
 古韻二百六ノ時ハ。平聲五十七。上聲五十五。去聲
 六十。入聲三十四韻アリ。是ヲ併テ一百七韻トス
 ルトキハ。平上去ノ三聲ヲ各三十韻トナシ入聲

ヲ十七韻トナシ合テアセ一百七韻トナシタル也。同
 用ノ韻四聲合テ九十九韻コレヲ一百七韻ト合
 スレハ二百六韻也。凡韻母ノ文字ハ古ハイニシ韻書ヲ
 作ル始メニ一類一類ノ韻ヲ聚メタル時。各其中
 シリ一字ウノ擢メキンテ採トリテ一韻ノ標目トナセシモ
 ノナラン。何ノ所由アリテ。其々ノ字ヲ用
 ヒタルト云フ。オダ詳ナラス是ヲ韻
 母ト稱スルコトハ唐刻ノ古今韻會及ヒ洪武正
 韻傍音釋義等ニ見エタリ。右韻母ノ中。蒸拯證職
 等證德ノ七韻。諸韻書ニ青廻徑錫ノ次ニ載入尤

有宥、上ニ在リ。然ルヲ韻鏡ニハ終リニ屬ス。其

由ヲ知ラズ。師說ニ青迥徑錫ト蒸拯證職ト隣次

其濫ヲ所ケンガ為ニ之ヲ別所ニ置モノナラン。

其濫スルコトハ。近クハ韻會ニ徑證證嶺ヲ合ヒテ

一韻トスルノ誤。又韻母ノ餘聲ヲ論スルニ、二百

六韻ニワカルトイヘド、ツマル所ハ平上去ニア

イウエオシノ六韻アリ。入聲ニフツクチキノ五

韻アリ。合テ十一類トナル也。唐音ノ入聲ニハ差

別ナキニ似タレド。細密ニ分別スレバ。是モ亦

ツクチキノ五類ナキニアラス。

又東冬ハウクククスウウウフウムウユウ

ルウウウ也。登侯ハ。オウコウフウトウノウホウ

モウヨウロウダウナリ。江陽唐豪父庚耕ハアウ

カウサウタウナウハウマウヤウラウワウ也。鍾

蒸ハ。イウキウシウチウニウヒウミウイウリウ

井也。蕭宵ハイヤウキヤウシヤウチヤウニウヒヤウミヤウ

イヤウリヤウ井ヤウナリ。魚ハ。ウウクウスウツウ又井ヨ

フ井ヨム井ヨユ井ヨル井ヨウ井ヨナリ。摸ハ。ウウクウスウ

ウウ又ウフウムウユウルウウ也。餘ハ準ヒテ

知ルベシ。何レモ韻母ノ音ヲ正シクシテ一韻ヲ
 定ムベシ。是開合拗直ノ國字ヲ定ムル大要ナリ。
 拗直ノコト。又一韻母ニシテ開合兩轉ニ涉ルモ
 ノハ。其轉ニ隨テ開合拗直ヲ分別スルコト上ノ
 韻母國字副ノ如シ。古來ノ假名此格ニ符合セザ
 ルハナシ。

韻學楷梯卷之上畢

菅茶山翁陸筆
 茶山先生集

全部四冊

茶山先生集の著者その詩聖と稱せられ
 八世の知る所あり此書を詩歌文雅の上のみならず
 世の雅俗と俗事と兩途をわたりて海より毒芹
 盜竊を避け防ぐ要儀を説く人必用の雜子
 經史を撰録せし正統すも同卷の奇活怪談の
 如きもその中を録し烈士奇人の行状をんと
 種々の佳話多き色ども深き事なりと見る人
 裨益ありしむ

大坂書肆

河内屋喜喜
 河内屋和助 梓

何力能かたては所産の御本以先見せんと

